

実施期間
2019年4月
▼
2020年9月

「伝えよう、日本の心プロジェクト」 本格スタート!!

来る東京2020オリンピック・パラリンピックに向け、日本の親切心を世界に発信していこうと立ち上げた、「伝えよう、日本の心プロジェクト」がいよいよスタートしました。先駆けとなった全国各地の活動をご紹介します。

「小さな親切」実行章



特別バッジ

「伝えよう、日本の心プロジェクト」では、海外の方へ親切を行った「小さな親切」実行章受章者に「特別バッジ」を贈呈。北海道室蘭支部から推薦を受け、特別バッジを受章した2団体の活動を紹介します。

室蘭市民観光ボランティアガイド協議会

観光ガイドを通じて国内外からの観光客を温かく迎えている他、きれいな場所で気持ちよく過ごしてもらおうと観光地の清掃を行っています。さらに、会員や市民を対象に外国語講座を開催する等、地域住民との交流も積極的に行っています。



実行章を受ける室蘭市民観光ボランティアガイド協議会

留学生フレンドシップ

留学生や在留外国人と、地域住民との交流を支援する留学生を中心としたボランティア団体。日常生活での困りごとや、生活習慣の違いによる地域住民とのトラブル回避まで、様々な手助けをしている他、アルバイトや就職の斡旋等も積極的に行い、留学生と地域住民との架け橋となっています。

あいさつで、みんなつながろ トモダチ作戦

福島県 大玉村の全小中学校

5月24日(金)、福島県の会員校、大玉村立大山小学校、玉井小学校、大玉中学校が3校合同のあいさつ運動を行いました。

大玉村出身の移民、野内与吉氏がかつて村長をつとめたことから、ペルー共和国マチュピチュ村の友好都市となっている大玉村。オリンピック・パラリンピックでは、ペルーのホストタウンとなっているため、元気なあいさつで選手や関係者をおもてなしようと、プロジェクトにいち早く賛同。運動本部が提供したのぼりやたすきを使用したあいさつ運動は、福島県内では初となりました。

大玉中学校生徒会長の日野春優君は、「オリンピックでは積極的にあいさつし、たくさんの国の人たちと交流したいです」と意気込みを語ってくれました。

ハイタッチをしながらのあいさつ運動は、自然と笑顔が溢れます。今後、大玉村を訪れる海外の方を明るく笑顔でお迎えし、心の交流につなげてくださることを期待しています。



日本列島クリーン大作戦



青森山田高校新体操部によるウォーミングアップ

「小さな親切」運動武蔵野市支部 (東京都)

6月2日(日)、武蔵野市支部(事務局:多摩信用金庫)では、吉祥寺、三鷹、武蔵境駅周辺を清掃する、市主催の「ごみゼロデー市内3駅一斉清掃」に参加し、三鷹駅周辺を清掃しました。

この前日、聖火リレーの都内ルートが発表され、2020年7月17日、聖火リレーが武蔵野市を通過することが決まりました。また、リレー期間中、各日の最後に行うセレブレーション会場に、武蔵野陸上競技場が決定。松下玲子市長は、このことにふれ、2020年に向けさらにきれいな街づくりを進めようと呼びかけました。

3駅周辺は、「住みたい街」として都内でも人気の高いエリア。商業施設や大学等も多く、参加者の顔ぶれは商店街や企業、大学生等多岐に渡り、住民以外にも愛されている地域であることを実感しました。



「小さな親切」運動青森県本部

4月20日(土)、青森県本部(事務局:青森銀行)と公益社団法人青森県観光連盟との共催で、「第25回青森県春のクリーン大作戦」が開催されました。前日に桜の開花宣言が出ましたが、朝晩は東京の真冬並みの寒さ。それでも、ゴールデンウィークを前に、観光客をきれいな街でお迎えしようと、県内全域で約10万人もの方々が参加してくださいました。

朝8時、青い海公園(青森市)では、今年のクリーン大作戦のスローガン「つくろう みんなの手で 世界一のきれいな街」を考えた^{たばこまち}箕田小学校児童が、元気いっばいに開会宣言をし、出発式がスタート。

出発式を盛り上げてくれたのは、青森山田高等学校の生徒の皆さん。吹奏楽コースの生徒さんは、出発式を演奏で盛り上げ、新体操部は、ウォーミングアップのダンスを先導してくれました。その他、毎年多くの生徒さんが清掃活動に参加しています。

(※P8で青森山田高校花田校長の「教育論」をご紹介します)

その後、参加者は市内を9コースに分かれ、道路の落ちているごみを次々と拾っていました。毎年参加している方にお話を伺うと、「年々ごみは少なくなっている」とおっしゃる方が多く、クリーン大作戦が目指す「ごみを捨てない美しい心」が育っていることが感じられました。



青い海公園(観光物産館アスパム前)に参加者が集う